

大学生の自尊心：日米比較研究

single space

ミシェル・ルピソン

single space

カリフォルニア州立大学モントレイ校

single space

要旨

single space

自尊心とは、「自我の領域における自己評価の感情」と定義されている。自信、あるいは謙虚が自尊心の高さや低さに現れる。そのため、自信を持っている人は自尊心が高く、謙遜している人は自尊心が低いと言われている。アメリカ人は過剰に自信を持っているというイメージがある。その一方、日本人はその逆で、謙虚だというイメージがある。この研究では、このようなイメージを再考察し、そのイメージが正しいかどうかを探るとともに、如何に自尊心が社会の目に左右されるかを調べた。その結果、ボディランゲージ、イメージ、ファッション等にどのように現れるか、また教室や職場での振る舞いはどのように自尊心と関係してくるのかを調べた。面白い事に、アメリカ人も日本人も同じぐらいの自尊心があるが、アメリカ人と日本人とはその表現の仕方が回りから非常に影響されていることが分かり、如何に日本人の言葉は振る舞いが日本の伝統的な価値観や慣習に深く関わっているかが分かった。

Comment [T1]: Make sure to put CSUMB

Comment [T2]: Center alignment, abstract part, font size should be 11 (smaller)

Comment [T3]: Single space in an abstract.

はじめに (Major Heading: alignment left, bold, no underline, no space below but space above)

Comment [T4]: Major Heading: alignment left, bold, no underline, no space below but space above

アメリカ人は自信満々であり、日本人は謙虚だという考え方がある。自信は自尊心に似ているため、自信があることは自尊心が高いことであり、逆に自信がない、あるいは謙遜をすることは自尊心が低いということだと思われる。そのため、アメリカ人は自尊心が高く、日本人は自尊心が低いということがよく言われている。その上、多くの事前に行われた調査研究の結果によると、日本人が自分を低く評価する傾向もある。これは、本当に自尊心が低いという意味であろうか。それとも、人は自分の文化が期待するように行動するという意味であろうか。確かに、文化、環境、周りの人などが人の自尊心に大きく影響しているのではないだろうか。

Comment [T5]: Make sure to set indent (tab 0.5 inch=3 letters), font size should be 12 (except for abstract and bibliography)

Comment [T6]: 1.5 space (excluding the abstract and the bibliography)

1. 研究の重要性

Comment [T7]: Create the space after you put the number. The space should be half-width.

私が日本に留学していた時、その「アメリカ人は自信満々であり、日本人は謙虚だ」という考え方が正しくはなく、人は文化における期待に従うために自信があるふり

をし、又は謙遜をしているようにふるまうという論文を読んだ。これは面白いと思い、日米における自尊心と、それが自信や謙遜とどういう関係があるのかについてさらに詳しく勉強したいと思った。

2. 研究質問

1. 日米大学生の自尊心の高さはどれくらい異なるか。大学生はどのように自分の自尊心を表現するのか。
2. 日本とアメリカではどのような要因が自尊心に影響するのか。

Comment [T8]: Align questions like the way you see below.

3. 研究背景 (when heading and subheading goes together, no space is necessary)

3.1. 自尊心とは何か (Sub heading: alignment left, no bold, no underline, no space below)

Comment [T9]: When heading and subheading goes together, no space is necessary

Comment [T10]: Sub heading: alignment left, no bold, no underline, no space below, space above except when you have a major heading above.

自尊心の定義には様々ある。どの位自分のことを大事にし、価値観を持っているか (Brown, 2008)。自尊心が高いかどうかによって、「自己高揚」と「自己批判」という言葉が出てくる。「自己高揚」というのは、「自分に関する肯定的な情報についての感性」と定義され、「自己批判」はその逆で、「自分に関する否定的な情報についての感性」と定義されている (北山, 1997)。つまり、自分のことをよく思うか悪く思うかということである。アメリカでは、自己高揚をする傾向があり、自分の成功を全て自分の能力によるという人が多い。その一方で、日本では、自己批判成がよく見られており、成功は運がいいためだという人が多い。ソシオメーター理論という心理学の概念によると、自尊心は他人からの「受容感」、すなわちどの位人に受け入れられることは自尊心と関係がある。その受容感が高いと、自尊心も高くなり、逆に受容感が低いと自尊心も低くなる (山本, 2009)。

Comment [T11]: In-text citation sample. Use comma for both Japanese and English names (name, year)

Comment [T12]: Corrected

3.2. 「自我」に対する見解と自尊心についての解釈

多くの研究 (北山 1997, Kobayashi 2003, 山岸 2012)によれば、アメリカと日本では、「自我」に対する見解が異なっているようである。アメリカでは、独立な存在が好まれ、他人との区別を強調し、「自我」とは個性的なものだとしている。それに対

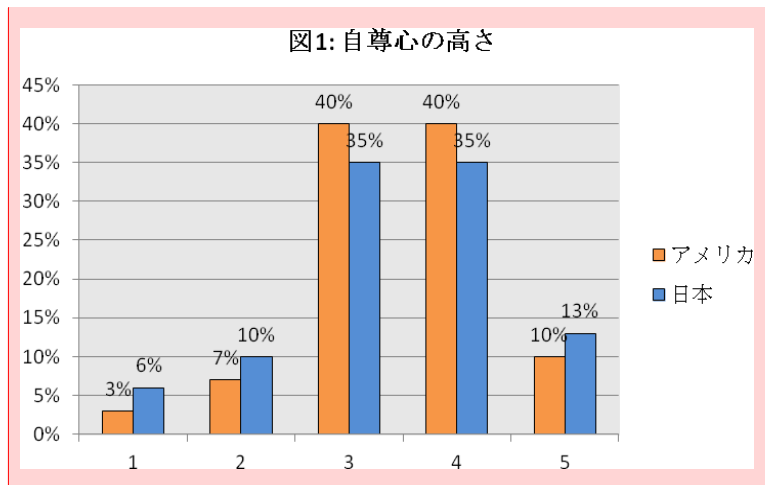
Comment [T13]: Corrected, if you have more than one author, you write in-text citation information like this. (name year, name year, name year)

して、日本では、「自我」よりグループの一部になる事が大切であり、他人との関係を大事にしているようである。

5. 結果

5.1. 研究質問 1 : 日米大学生の自尊心の高さはどれくらい異なるか。大学生はどのように自分の自尊心を表現するのか。

この研究質問に対し、いくつかの質問をした。まず5点のスケールで回答者に自分の自尊心を評価してもらった。1は非常に低いから5の非常に高いまでである。



Comment [T14]: 図 1: 自尊心の高さ, put numbers on each graph and chart.

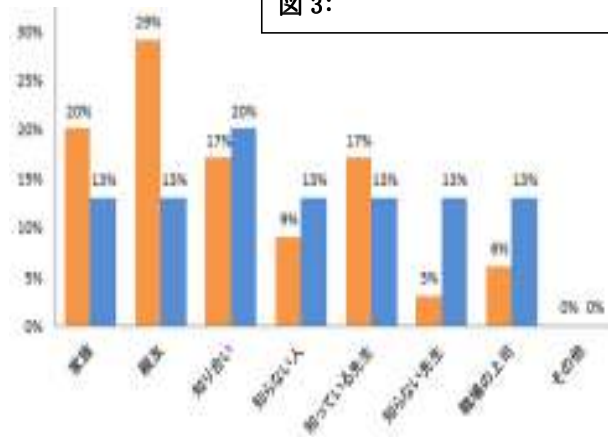
図 1 からわかるように 日本人は驚いたことにアメリカ人と同じくらいに自尊心が高く出たことである。ほとんどの回答者が 3、4 で自分の自尊心を高く評価した。では、なぜ日本人は自尊心が低いとされているのだろうかを知るために次に「人の前で謙遜しているようにふるまうことがありますか」という質問をした。その結果、アメリカ人より、

Comment [T15]: You can start to say like this. Or you can say the way in T16

「だれに対して謙遜をしているようにふるまいますか」という問いには、アメリカ人も日本人も、多くの学生は知らない人や目上の人に対して謙遜をしているようにふるまうと答えた (図3参照)。謙遜をしているようにふるまう理由として挙げられたのは、アメリカ人の方が自慢し、自惚れているように見られたくないという人が多かった。逆に、日本人は他人のことを考え、他人を尊敬する、あるいは気を使うために謙遜をしているようにみえるようにふるまうという人が多かった。これはアメリカ人は自分のことを考え、日本人は他人のことを考えているということが前述した「自我」についての見解を支えている。

Comment [T16]: When you discuss the data results, put this (図3参照) at the end of sentences. You can also refer to the previous comment, T15.

図 3:



6. 結論

日本人は自尊心が低いと言われているが、調査結果によるとどちらの国でも多くの人は自尊心が高い。このことから、謙遜をしているということは自尊心が低いという意味ではないことが明らかになった。自尊心と自信は関係があるが、自尊心があるからといって自信もあるというわけではない。アメリカ人も日本人も、自尊心は高かったが、どちらの国の人も自信を持っていることもあれば持っていないこともあった。また、現在でもグループ思考は日本人のふるまいに影響しているようである。さらに、人の持つ

Comment [T17]: This is a good example. Sentences need to be connected to reduce the number of very short paragraphs. Think about which connecting words you can use.

自尊心は教育制度やメディアに左右される上に人との安心感やどの位人に受け入れられるかが自尊心に影響を与えるということがわかった。

7. 研究の限界点と将来の研究課題

この研究は大学生を対象にした研究であったため、アメリカと日本に一般化はできない。将来の課題としては、違う年齢層や性別によってどの位自尊心に違いがでるのかを研究したいと思う。

参考文献

Academic Journal

Hughes, J. C., Brestan, E. V., & Valle, L. A. (2004). Problem-solving interactions between mothers and children. *Child and Family Behavior Therapy*, 26(1), 1-16.

Basic Books

Jans, N. (1993). *The last light breaking: Life among Alaska's Inupiat Eskimos*. Anchorage, AK: Alaska Northwest Books.

Magazine

Borowitz, A. (2004, November 15). Pavlov's brother. *New Yorker*, 80(35), 63-66.

News Paper

Brown, P. L. (1999, September 5). Tiffany glass and other tales from the crypt. *The New York Times*, pp. 1, 5.

Revised Books

Culliney, J. L. (2006). *Islands in a far sea: The fate of nature in Hawai'i* (Rev. ed.). Honolulu, HI: University of Hawai'i Press.

Specific page of the website

Sea Turtle Restoration Project. (2006). Threats to sea turtles. Retrieved from <http://seaturtles.org/section.php?id=104>

Comment [T18]: Center alignment, bold, center the title "References," and alphabetize the entries. Do not underline or italicize the title. Every source mentioned in the paper should have an entry.

Times New Roman, size 12

Comment [T19]: You need to understand correct ways to list your references depending on which sources you used.

You need to make sure to use the indent for the APA style citation.

Journal: focus on what should be italicized. The name of the journal should be italicized.

Comment [T20]: Book: The name of the book should be italicized.

(10.5 / size, name and page #) ミシェル・ルピサン 6

